

あきる野市・日の出町・檜原村にお住まいの皆さまへ

JAあきがわ LETTER



Vol.9



JAあきがわ



JAあきがわでは、組合員および地域にお住まいの皆さまと共に歩み続けるJAとなるべく、
自己改革を実践しています。その内容の一部をご紹介します。

令和6年 自己改革の取り組み

組合員との対話運動

業種別機能別部会開催

JAあきがわのすべての部会役員とJA役職員60人が参加して行いました。JAと部会活動の発展を目指し、各部会が活動を報告し、横断的な意見交換を行いました。



第37回通常総代会開催

6月26日に開催しました。通常総代会では任期満了による役員改選が行われ、地区選出による18人、学識経験者3人、員外監事1人が選出されました。総代定数500人中、各地区より総代400人が出席しました。



経済センター直売所モニター

11月に直売所モニターによる他JAの直売所視察を行いました。モニター（准組合員）目線での改善点や要望などを直売所に反映させていきます。



地域貢献活動

地域コミュニティ事業

各店舗が地域交流の拠点に！
地域のイベントに積極的に参加・出店しました。



ますます市で



弘沢の滝夏まつりで



二宮マルシェで



稲作体験



ダイコン栽培体験

農業体験支援

保育園・幼稚園・小学校の農業体験を年間を通して支援しています。

地元イベントに協力

イベントの参加賞として、3月に五日市地区特産で江戸東京野菜の「のらぼう菜」を、を提供しました。



親子農業体験「あぐりスクール」

管内に住む親子に農作業を通じて農業への興味・関心を高め、農業への理解を深めてもらうことが目的です。11家族46名が参加し、3月から計8回10種類の野菜を栽培しました。



令和6年の参加者

市内小・中学校 社会科見学等受入れ

各直売所で市内の小・中学校の社会科見学、職業体験を受け入れています。



レジ袋収益金を 社会福祉協議会へ寄付

経済センターと直売所で販売するレジ袋の収益金を寄付しました。地域福祉や地域ボランティアの活動費に充てられます。



やさいのひ 8月31日 野菜の絵コンテスト

8月31日（やさいのひ）に合わせて、野菜の絵コンテストを開催しました。小学生以下の子どもたちから55点の応募がありました。



JA東京アグリパーク

3月に「のらぼう菜フェア」、6月に「秋川溪谷恵みフェスタ」を開催しました。管内の観光協会や商工会等と共に管内農産物や市町村特産品を販売し、観光情報をPRしました。



小・中学生書道 コンクール展示会

半紙の部・条幅の部、合わせて313点の応募がありました。



子どものめりえ展

書道展と同時開催しました。管内の幼稚園・保育園に応募を呼びかけ6園が参加し、2歳児から6歳児までの385名の作品が集まりました。



ひまわり緑肥事業

土壌改良のため、ヒマワリの種を配布しました。季節外れのひまわり畑は、地域住民にも好評でした。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

営農支援活動

営農相談 相談受付日:日・月・木・金曜日の週4日



品質向上委員会で各直売所出荷物の品質検査



営農支援センターでは営農アドバイザーが栽培技術や病害虫に関する相談を受付けています。月1回生育・病害虫情報を発信しています。

耕作支援・農機具無料点検など

農機具の無料点検・無料オイル交換の特別キャンペーンを年に2回行っています。本年は、3月に日の出ぐりむで、10月に増戸・五日市支店で、無料点検を行いました。



無料点検会場



耕うん機の点検



集まった廃棄農薬

廃棄農薬の回収

産業廃棄物の適正処理のため、登録が失効した農薬、有効期限の切れた農薬を回収しています。

農業用廃棄ビニール回収

農業で出るゴミの適正処理。農業用廃棄ビニールの回収は、1997年から行っています。本年より回収品目に廃プラスチックを追加し、11月に64袋回収しました。



集められた廃棄ビニール

農業資材等価格高騰対策

【燃油経費支援】

施設栽培用暖房機の燃油(灯油・A重油)費用の一部を助成しました。

【肥料・堆肥の特別価格販売】

組合員の農業支援のため、肥料や堆肥を特別価格で販売しました。
2月、8号エコ化成、14号高度化成
3月、発酵鶏ふん、ミックス堆肥
8月、8号エコ化成、14号高度化成
10月、発酵鶏ふん、ミックス堆肥

各種講習会開催

直売所出荷部会や営農部会を対象に、講習会を開催しました。



獣害対策講習会



アブラナ科野菜栽培講習会



生産履歴システム操作研修会

第3回農畜産物品評会

JAあきがわ主催の品評会を開催しました。野菜・果実花き植木・加工品その他の部の4部門に計159点の出品がありました。出品物は翌日、販売会にて販売し、収益は日本赤十字社に寄付しました。



出品物を審査する審査員

生分解性マルチの特別価格販売

プラゴミ削減に向けて、農業用生分解性マルチを特別価格販売し農業廃棄物の削減を支援しています。

獣害対策・電気柵支援

獣害被害対策の電気柵「デンエモン」の購入費用を半額助成しています。

組合員活動

青壮年部

地元産農産物の販売で管内農業のPRに努めています。青壮年部は日の出町産業まつりと、あきる野市産業祭で花・野菜の宝船を展示し、使用した野菜の宝分けの収益金を同市町の社会福祉協議会へ寄付しています。



日の出町産業まつりにて



あきる野市産業祭宝船

あきる野市の中学校で食育授業を行いました。地域の農業や畜産・酪農業について部員が講演しました。



地域農業振興の一環として、特産物のトウモロコシを使用した焼酎を企画。品種の選定から肥培管理、脱粒作業などをしました。



本格とうもろこし焼酎「黄金世代」ボトルが新しくなりました。



出荷作業

女性部

女性部は地区ごとに7支部があり、エコ石けん作りや手芸教室、ハイキング、研修旅行などさまざまな活動を行っています。



あきる野夏まつり流し踊り



救命救急講習の受講

年金友の会

第10回グラウンドゴルフ大会を開催しました。9地区より18チーム130人の選手が参加しました。大会当日満88歳以上の参加者8名に組合長賞を贈りました。



女性部機関誌「やまなみ」100号を発行しました。創刊は昭和63年11月で女性部の手で年3回発行されています。



全国の旬のおいしさをお届けするJAグループの頒布会



旬の味覚を毎月お届け

旬鮮倶楽部

年1回のお申込みで、毎月カタログからお選びいただいた商品をお届けします。毎月旬の味覚が届く1年間をお楽しみください。

果物、野菜、お肉といった国産農畜産物や、それらを使ったお惣菜やスイーツに加え、全国各地の名産品やお花も取り揃えています。旬の果物の味を楽しむ、遠方の名産品を旅行気分を楽しむ、お花を見て楽しむなど、様々な楽しみ方が可能です。



旬鮮倶楽部のお申込み・お問合せ
お近くの金融店舗・経済センターまで
お申込み締め切り日
2025年1月31日まで



発行：秋川農業協同組合

所在地：〒197-0804 東京都あきる野市秋川3-1-1 電話：042-559-5111(代)

URL <http://www.ja-akigawa.or.jp/> JAあきがわ 検索



ホームページ



Instagram



JAあきがわ公式
Facebookページ
JAの最新情報、
旬の野菜情報など



あきる野市